

福島 12 市町村の現地訪問概要

目的：6月6日第15回福島12市町村の将来像に関する有識者検討会での12市町村長の御意向等を踏まえ、将来像提言の見直しにあたって12市町村の現状を伺うべく、現地訪問及び市町村長との意見交換を実施。

第1回 令和2年7月28日（火）

訪問者：大西座長、家田座長代理

市町村：田村市、広野町

時間	市町村	訪問先	概要
午前	田村市	都路行政局	本田市長と意見交換。
午後	田村市	A-Plus 植物工場	世界初の自動搬送システムを採用した、完全密閉型の植物工場。
		都路地区の空き家	都路地区の空き家・空き地の現状について。
		ホップジャパン (グリーンパーク都路)	地元で収穫されたホップを用いたクラフトビールの醸造設備。
	広野町	広野町振興公社バナナ園	昨年度初収穫を迎えた、新たな特産品化を目指した温室におけるバナナ栽培の状況について。
		広野町役場	遠藤町長と意見交換。
		福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校	ふたば未来学園の地域課題解決の探求等の特色ある取組等について。

第2回 令和2年8月27日(木) - 8月28日(金)

訪問者：大西座長、家田座長代理

市町村：葛尾村、川内村、浪江町、南相馬市、飯館村

日時	時間	市町村	訪問先	概要
8月27日	午前	葛尾村	葛尾村役場	篠木村長と意見交換。
			復興交流館あぜりあ	(一社)葛尾むらづくり公社関係者等と意見交換。
			野行地区	特定復興再生拠点における計画の概要と現状について。
	午後	川内村	いわなの郷	遠藤村長と意見交換。
			川内小中学園予定地	来年4月に開校予定の、幼保連携型認定こども園を併設した、村立小学校及び中学校を統合した義務教育学校施設。
			町分公営住宅(仮称)	来年3月に完成予定の子育て世代等をターゲットとした公営住宅。
			YO-TASHI	平成28年3月に開業したコンビニエンスストア、クリーニング取次店、医薬品販売店、飲食店、ふれあい広場等を含んだ複合商業施設。
		浪江町	浪江駅周辺地域	まちの顔となる駅周辺の「先導整備エリア」「まちづくり推進エリア」公共公益施設等の計画・整備状況等について。
			請戸漁港	荷捌き施設等の完成を踏まえ、本年4月に9年ぶりに競りを再開した漁港施設。
		浪江町役場	吉田町長と意見交換。	
8月28日	午前	南相馬市	南相馬市小高交流センター	門馬市長・地元事業者等と意見交換。
			南相馬市福島ロボットテストフィールド	物流、インフラ点検等に活用されるドローン、ロボット等の研究開発や実証試験、さらには制度整備にも貢献しうる、世界に類を見ない一大研究開発等の拠点。
	午後	飯館村	道の駅までい館、ふかや風の子広場	産業復興拠点としての役割を期待される平成29年8月にオープンした道の駅までい館や多目的交流広場として本年8月にオープンしたふか

				や風の子広場。
			いいたて希望の里学園、ま だいの里こども園	菅野村長と意見交換。
			長泥地区環境再生事業実証 栽培エリア	特定復興再生拠点区域である飯舘村長泥地区において、飯舘村内から運搬した除去土壌を再生資材化し、それを用いて造成した試験盛土上の作物の試験栽培や農地造成の準備工事の実施状況について。

第3回 令和2年9月28日（月）-9月29日（火）

市町村：川俣町、双葉町、大熊町、檜葉町、富岡町

訪問者：大西座長、家田座長代理

日時	時間	市町村	訪問先	概要
9月28日	午前	川俣町	アンスリウム栽培農家	農業復興の象徴として川俣ブランドの構築と、高収益性を目指し、ポリエステル媒地を活用した園芸施設でのアンスリウム栽培状況。
			山木屋小中学校	佐藤町長と意見交換。
			杉田屋「語り処やまこや」	地元事業者等と意見交換。
	午後	双葉町	東日本大震災・原子力災害伝承館	未曾有の複合災害の「記憶と記録」、「そこから得られる教訓」そして「福島が復興していく姿」を、国や世代を超えて、未来へ継承する等を目的とした施設。
			双葉町産業交流センター	中野地区復興産業拠点等の就業者のサポート、「復興祈念公園」「東日本大震災・原子力災害伝承館」等への来訪者へのサービス提供及び一時帰宅する町民に向けたサポートを目的とした、復興の希望となるシンボル施設。屋上から産業団地の企業立地状況や復興の状況等を展望。
			双葉駅周辺	駅西側に生活拠点を整備し、帰還できる環境の提供や、人が移住したくなるような魅力ある場所づくりのため、再生可能エネルギーの活用や電線の地中化などの人が出歩きたくなるまちづくりの計画・整備状況について。
			双葉町コミュニティセンター	伊澤町長と意見交換。
		大熊町	大野駅周辺	町の住宅・産業・商業・交流拠点として、整備中の下野上地区の状況や、町の玄関口としての大野駅の改修状況等について。
			ネクサスファームおおくま	環境制御システムや効率的な植物工場化により労働負荷を軽減し、

				いちごの周年栽培を行う施設。
			大熊町役場	吉田町長と意見交換。
9月29日	午前	檜葉町	甘藷（サツマイモ）貯蔵庫	栽培・出荷の省力化等により、従来のみちにはなかった新たな営農モデルの確立のための世界最大級の保管容量を誇る甘藷貯蔵施設。
			檜葉遠隔技術開発センター	東京電力福島第一原子力発電所の作業環境を模擬したモックアップ設備等を整備した遠隔操作機器・装置（ロボット等）の実証試験のための施設。
			笑ふるタウンならは	スーパー、ホームセンター、飲食店、ベーカリー、理容室、クリーニング店等計11店舗の商業施設。
			みんなの交流館 ならは CANvas	松本町長と意見交換。
		富岡町	夜ノ森駅周辺	本年3月に再開した駅を起点に賑わい創出の土台としていく等、特定復興再生拠点区域の整備状況等について。
	午後		富岡町役場	宮本町長および復興支援員等と意見交換。
		大熊町	中間貯蔵施設	放射性物質汚染対処特措法等に基づき、福島県内の除染に伴い発生した放射性物質を含む土壌・廃棄物及び福島県内に保管されている10万ベクレル/kgを超える焼却灰等を最終処分するまでの間、安全に集中的に管理・保管する施設。